

男女共同参画啓発シリーズ Vol.243

八頭町男女共同参画「かがやき川柳」

八頭町では、誰もが性別にとらわれず、個性や能力を認め合い、支え合って暮らせる「男女がともに輝くまちづくり」に取り組んでいます。

しかし、今なお固定的な性別役割分担意識などにより、性別によって負担や責任が偏っている状況があります。

アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)に気づき、考えるきっかけとして、「かがやき川柳」を募集しています。



日韓派遣研修生の まちレポお届けします!

歌でつながる韓国の「興(フン)」文化



この写真の青年は、何をしているのでしょうか。

焼酎瓶にスプーンを入れ、マイク代わりにして歌っています。

最近、このような光景はほとんど見られませんが、私が大学に通っていた2000年頃までは、

日常的によく見られました。

韓国では昔から「興(フン)」が大切にされてきました。興とは、楽しい場で自然に気持ちが高まり、歌ったり踊ったりしながら、みんなで盛り上がる韓国特有の感覚を表す言葉です。音楽や食事、集まりの場で「興」を大切に、一体感や楽しさを共有する文化が受け継がれています。

こうした「興」を表現する場として、親しまれてきたのがカラオケです。カラオケは1970年代に日本で生まれ、誰もが気軽に楽しめる娯楽として広まりました。この文化は1980年代後半に韓国へ伝わり、急速に普及し、韓国独自の『ノレバン(歌部屋)』へと発展しました。

ノレバンは1990年代に代表的な娯楽として定着し、友人や家族、同僚と楽しむ場となりました。かつては、飲み会の二次会といえば自然とノレバンへ向かうほど、韓国人の暮らしに深く根付いた存在でもありました。

しかし、コロナ禍を経て会食文化は大きく変化し、大人数での集まりは減少し、少人数や個人で楽しむスタイルが増えています。そうした中で注目されているのが「コインノレバン」です。



コインノレバンは、コインを入れて短時間歌を楽しめ、手頃な価格で利用できるのが特徴です。特に学生に人気が高く、大学周辺などでよく見かけます。このように、歌で楽しさを分かち合う文化は、形を変えながらも受け継がれています。

韓国を訪れる機会があれば、人々の楽しみ方を通して、韓国ならではの「興」の文化を感じてみてください。



日本語	韓国語	読み方
興味がありません。	흥미가 있어요.	フンミガ イッソヨ.
本当に面白いです!	정말 재미있어요!	チョンマル チェミ イッソヨ!
好きな歌は何ですか?	좋아하는 노래는 뭐예요?	チョアハヌン ノレヌン モエヨ?